

プレスリリース

報道関係各位

金沢美術工芸大学
同窓会関東支部「東京けやき会」
金沢市

平成27年9月14日

魅せます！金沢美大同窓生による百人百色
「金沢・一号一絵展」
開催について



この度東京けやき会（金沢美術工芸大学同窓会関東支部）と金沢市との共催で「金沢・一号一絵展」を開催する運びとなりました。会場となる「銀座の金沢」（同封資料参照）は、金沢市が北陸新幹線開業を機に銀座一丁目に設けた金沢の魅力発信拠点です。その開設一周年を記念して金沢美大の同窓生（関東在住）が思い思いの金沢をイメージしての創作展を開催します。

日本芸術院会員の村田省藏はじめ、「第六回東山魁夷記念 日経日本画大賞展」の大賞に選ばれた岩田壮平、元ジブリ「思い出のマーニー」監督の米林宏昌、「マンガ大賞 2015」の大賞を受賞した東村アキコ、ナムコ「太鼓の達人」キャラクター制作者の横尾有希子など100人のOB・OGが一号サイズのキャンバスに自分の金沢を描き出します。

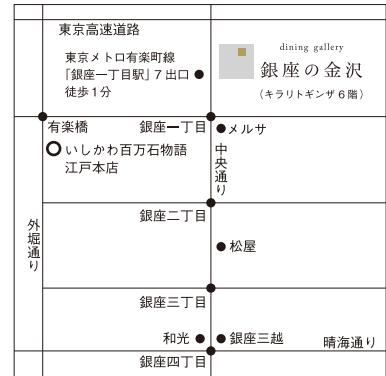
私ども金沢美術工芸大学は、石川県金沢市にある全学生が700名しかいない小さな公立の美術大学です。その小さな美術大学が無謀にも、この銀座で2004年から定期的に画廊を同時に借切って展覧会をする通称「銀座ジャック展」を開催しています（同封資料参照）。

その実績を金沢市に注目していただき、昨年オープンした「銀座の金沢」のギャラリーで「金沢・一号一絵展」を開催することになりました。同じ規格の一号キャンバス枠を使って金沢を表現するというユニークな展覧会です。「一号一絵展」は2007年の銀座ジャック展の際に金沢美大同窓生なら誰でも出品できる企画展として開催。大成功をおさめたこともあり、今回再びの企画展となりました。

日 時：2015年9月14日（月）～27日（日）
11：00～21：00（最終日は16：00まで）

会 場：dining gallery「銀座の金沢」
〒104-0061 東京都中央区銀座 1-8-19
キラリトギンザ 6階
TEL 03-6228-7733
FAX 03-6228-7035

出品者数：100余名



○出品者一覧（予定） 期間中は展示作品の人気投票を行います

- | | | | |
|----------------|-----------------|----------------|-----------------|
| 内堀 法孝（昭54年工デ） | 柴田 修（昭51年工デ） | 高久加奈子（平13年工芸） | 村 禎介（昭38年商デ） |
| 田保橋 淳（昭28年油絵） | 白水 博美（平22年視覚） | 辻本 博紀（平07年工芸） | 菊地 静子（昭40年工デ） |
| 作宮 隆（昭53年商デ） | 島田 由子（昭58年日本画） | 三谷 紀子（昭52年油絵） | 松村あらしん（昭46年日本画） |
| 大日方 眞（昭53年工デ） | 八十島海斗（平14年彫刻） | 村田 省藏（昭25年油絵） | 荒殿 優花（平25年院彫刻） |
| 捧 恭子（昭61年院工芸） | 館 成樹（昭46年彫刻） | 村田 真樹（昭55年工芸） | 米林 宏昌（平08年商デ） |
| 久野 良一（昭43年油絵） | 内藤 晴久（昭42年商デ） | 奥下 和彦（平21年視覚） | 三谷 豊（昭51年商デ） |
| 清水 幹雄（昭43年工デ） | 中村 陽子（昭53年日本画） | 川浪 由理（平18年油絵） | 高岡 典男（昭51年彫刻） |
| 小森 茂雄（昭37年工デ） | 高田 久志（昭34年商デ） | 川浪 智史（平17年彫刻） | 高岡一二三（昭50年彫刻） |
| 横山 徹（昭53年彫刻） | 東 郁子（昭50年商デ） | 圓角 秀世（昭47年工デ） | 石井 明光（昭48年彫刻） |
| 三浦 宏幸（昭53年商デ） | 今井 俊隆（昭54年工デ） | 川崎 文雄（昭53年彫刻） | 池上 正人（昭48年商デ） |
| 吉田 晨祐（昭34年商デ） | 大橋 宜子（昭35年商デ） | 林田 智明（昭59年油絵） | 日月 智子（平17年工芸） |
| 鹿島 照代（昭39年商デ） | 祐泉 隆（昭42年商デ） | 小泉 卓（昭51年商デ） | 吉田 昇（昭54年彫刻） |
| 谷口 修平（昭35年工デ） | 佐藤 啓子（昭44年日本画） | 坂井 達省（昭53年彫刻） | 藤岡美知子（昭51年工芸） |
| 中田 晋一（平06年日本画） | 岩田 壮平（平14年院日本画） | 浅沼 剛九（昭43年商デ） | 戸田 伸二（昭53年商デ） |
| 中田 綾（平06年日本画） | 松崎 十朗（昭60年院日本画） | 米村 浩（昭60年商デ） | 東村アキコ（平10年油絵） |
| 金谷 雅枝（昭48年工芸） | 濱田 忠士（昭34年商デ） | 片桐 敏雄（昭47年商デ） | 大下 真衣（平18年視覚） |
| 鈴木ゆき子（昭52年商デ） | 横尾有希子（平06年商デ） | 喜多 謙一（昭39年工デ） | 武田 雅彦（昭55年商デ） |
| 小田桐 昭（昭36年商デ） | 黒澤 淳一（昭51年商デ） | 喜多 愛子（昭40年油絵） | 佐藤 健（昭48年彫刻） |
| 石澤 将也（昭36年油絵） | 池田 博範（昭51年商デ） | 本谷 道子（昭55年商デ） | 嶋田 寛行（昭48年商デ） |
| 石澤香津子（昭36年油絵） | 安田 勝彦（昭37年商デ） | 熊崎 優（平14年視覚） | 中村 肇（昭53年商デ） |
| 重原 保男（昭34年商デ） | 林 遼（平22年院彫刻） | 角居 康宏（平05年工芸） | 佐藤 義浩（昭59年商デ） |
| 斉藤 和子（昭52年油絵） | 清水 英範（昭28年漆工） | とりごえまり（昭63年商デ） | 井上 涼（平19年視覚） |
| 西部 富雄（昭33年商デ） | 藤原喜一郎（平13年工芸） | 玉田 健二（昭45年工デ） | 丹羽 政良（昭58年商デ） |
| 杉浦美代子（昭51年油絵） | 仲間 惇子（昭55年工芸） | 指田 隆行（昭51年商デ） | 海野 博子（昭35年油絵） |
| 根木山和子（昭45年油絵） | 高瀬 延江（昭39年油絵） | 櫻木 清（昭46年工デ） | 中村 正（昭53年工デ） |
| 春日 富（昭50年日本画） | 高瀬 昭男（昭40年彫刻） | 大川 和宏（平08年院工芸） | 林田 裕子（昭58年油絵） |
| 内田 智（昭59年工デ） | 十倉 宗晴（昭39年商デ） | 渡辺 孝子（昭40年商デ） | |
| 本田 正信（昭36年日本画） | 齋藤世帆里（平01年商デ） | 密田 恵（昭63年商デ） | |
| 清水 吉治（昭34年工デ） | 熊崎 信也（平14年視覚） | 泉屋 政昭（昭43年商デ） | |

○ 出品者プロフィール



村田 省蔵 昭和25年油絵
日本を代表する風景画家の第一人者
日本芸術院会員／日展顧問
日展内閣総理大臣賞、日本芸術院賞



松崎 十朗 昭60年院日本画
自然を描く中堅実力派作家
日展会員／日展審査員
日展特選2回、菅橋彦大賞準大賞



岩田 壮平 平成14年院日本画
脚光を浴びている若手スター作家
日展準会員
東山魁夷記念日経日本画大賞展大賞
日展特選2回



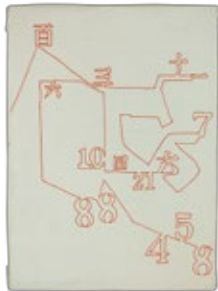
高岡 典男 昭和51年彫刻
欧州、中近東、アジアで活躍する石彫家
「現代日本彫刻展」東京国立近代美術館賞受賞他多数。
旭川市立彫刻美術館、埼玉県立近代美術館
などにコレクション



米林 宏昌 平成08年商業デザイン
元ジブリ・アニメ監督
「思い出のマーニー」／「借りぐらしのアリエッティ」監督
「ゲド戦記」作画監督補、「千と千尋の神隠し」
「ハウルの動く城」「崖の上のポニョ」原画担当



東村 アキコ 平成10年油絵
連載を多数抱える人気漫画家
「ママはテンパリスト」100万部の大ヒット
映画「海月姫」の原作者、講談社漫画賞、
「かくかくしかじか」で第8回マンガ大賞



奥下 和彦 平21年視覚デザイン アニメ作家
テレビ朝日「報道ステーション
オープニングタイトル」の赤い糸など



横尾 有希子 平成06年商業デザイン イラストレーター
代表作にナムコ「太鼓の達人」シリーズや
「みずいろプラッド」といったゲームソフト。
富山テレビ放送のマスコットキャラクター「ビーちゃん」



清水 吉治 昭34年工業デザイン
世界的マークースケッチの第一人者
東京芸大、金沢美大、多摩美はじめ
国内15の大学、中国では精華大学、
北京理工大学他50以上の大学でも指導



米村 浩 昭60年商業デザイン
クリエイティブディレクター
サッポロビール、ナイキ、リクルートの広告で
東京ADC賞グランプリ、ACC賞グランプリ、
ニューヨークADC賞など国内外で受賞



とりごえまり 昭63年商業デザイン
動物とくに猫が好きな人気絵本作家
「名なしのねこ」「トイレの神様」など多数出版。
絵本制作を中心に、幼児雑誌や絵本の挿絵、
広告などの仕事を手がける



井上 涼 平成18年視覚デザイン
何でもこなす現代アーティスト
NHK Eテレ「びじゅチューン!」の出演・作詞・
作曲・アニメ制作・歌をすべて一人でこなしている
超人的若手現代アーティスト

○金沢美術工芸大学

金沢美術工芸大学は、1946年戦後の混乱と虚脱のなか金沢市民の熱意により、工芸美術の継承発展と地域の文化と産業の振興を目指して創立されました。

以来、本学は豊かな自然環境と歴史的遺産のなかで、美術・工芸・デザインの分野における個性豊かな教育と学術研究に取り組み、文化都市金沢の発展の一翼を担ってきました。

芸術が社会に果たす役割を自ら探し行動する人材を育成し、世界における創造の機会の拡大と多様化に資するために、本学は知と創造の拠点となることを目指します。



東京けやき会のホームページ <http://t-keyaki.com/>

お問い合わせ：金沢・一号一絵展 実行委員長
黒澤 淳一
090-3103-0520 jun9638@nxyzbb.ne.jp

▶金沢美大同窓会「東京・銀座大展覧会」(通称：銀座ジャック展)の歩み◀

2002年 【一合升で遊び升展】

「一合升で遊び升展」。一合升を1個を使って思い思いの作品を創作。
NHKの首都圏ニュースや、東京新聞に取り上げられ、ギャラリー始まって以来の賑わいとなった。総入場者数は6日間で1,032名に達した。



2004年 【金沢美大OB 東京・銀座大展覧会】

2004年9月27日(月)から10月2日(土)までの1週間、銀座1～8丁目およびその近辺の65の画廊・ギャラリーを一斉に借りきり同時開催した前代未聞の超ビッグスケール展覧会プロジェクト「金沢美大OB 東京・銀座大展覧会」。

●会場総数 65会場 ●出品参加者数 450名以上 ●総入場者数 17,000名余



2007年 【金沢美大OB 東京・銀座大展覧会】

2007年9月に開催した「2007金沢美大OB 東京・銀座大展覧会」。同窓会の展覧会の枠を超え、あらゆるジャンルの枠も超え、作品と人、人と人の体温が共鳴しあうアートの大フェスティバルとして開催。

●会場総数 123会場 ●出品参加者総数 862名 ●入場者総数 43,812名



2011年 【金沢美大OB 東京・銀座—金沢—N.Y. 大展覧会】

総合テーマ「金の美」を掲げ、金沢美大卒業生有志（東京、金沢両実行委員会）が金沢美術工芸大学と同窓会との共催で、2011年9月に東京・銀座、金沢、ニューヨークの3都市で大展覧会を同時開催した。

●会場総数 173会場 ●出品者数 1,379名 ●来場者総数 86,882名

